

## 開催概要

&lt;主催：関東運輸局山梨運輸支局&gt;

- 日時：令和2年11月27日（金）14時00分～16時00分
- 場所：山梨県防災新館 1階 やまなしプラザ オープンスクエア
- 議事（1）関東運輸局のバリアフリーの取り組みについて  
関東運輸局
- （2）関東地方整備局のバリアフリーの取り組みについて  
関東地方整備局
- （3）〈講演〉精神障害者にとってのバリアフリーの現状と課題  
NPO法人 山梨県精神障害者家族会連合会 事務局長 竹下 茂 様
- （4）意見交換

## 委員

（敬称略）

- <座長>佐々木 邦明（早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 社会環境工学科 教授）
- 中村 一良（一般社団法人 山梨県老人クラブ連合会 副会長）
- 芦沢 茂夫（支えあう会「ピーチ&グレープ」代表）
- 山西 孝（社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会 理事）  
（山梨県知的障害者支援協会 会長）
- 埜村 和美（一般社団法人 山梨県視覚障がい者福祉協会 理事）
- 仁科 加代子（一般社団法人 山梨県聴覚障害者協会 事務局長）
- 竹下 茂（NPO法人 山梨県精神障害者家族会連合会 事務局長）
- 星合 美紀（NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆう 代表理事）

## 参画（委員以外）

- 【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道（株）八王子支社、山梨交通（株）、富士急行（株）、富士急山梨ハイヤー（株）、（株）富士レークホテル、（一社）山梨県バス協会、（一社）山梨県タクシー協会
- 【関係行政機関】山梨県、山梨県警察本部、県内市町村 【その他】関東地方整備局、関東運輸局

## 講演

【NPO法人 山梨県精神障害者家族会連合会 事務局長 竹下 茂 様】 &lt;講演題目&gt;「精神障害者にとってのバリアフリーの現状と課題」

## バリアフリーの取り組み等

- 【東日本旅客鉄道（株）八王子支社】
  - ・ホーム上の内方線付き点状ブロックの整備や駅社員等による転落防止対策の強化、「声かけ・サポート」運動の実施、山梨市駅における段差解消等の整備
- 【（株）富士レークホテル】
  - ・館内、客室等のバリアフリー化、食のユニバーサル
- 【山梨県】
  - ・甲府駅南口周辺における段差解消等の整備、車いすやベビーカー等利用者に分かりやすいピクトグラム（案内用図記号）の設置
- 【南アルプス市】
  - ・路線バスについて、新規路線の車両にノンステップバスを導入

## 会議での発言（委員より）

- ・押しボタン式のドア開閉の電車について、ボタンを押せない高齢者や障害者等がいた際には車内放送をしたうえ、安全確認後、全ドアを自動で開けていただけるよう乗務員マニュアルの変更をお願いしたい。
- ・中央線特急の割引がインターネット予約限定となっており、高齢者や障害者はインターネットを使用出来ない事もあるため、窓口での購入ができるよう検討いただきたい。
- ・歩道と車道の境界に植栽されている樹木について、根が伸びアスファルト舗装が凸凹になっている箇所があり、車いす利用者だけでなく高齢者等の歩行にも危険である。
- ・南アルプス市では市内約250ヶ所において、段差があった歩道をスロープ化していただいた。
- ・県内には無人駅、階段があるなどで利用したくても車いすでは利用出来ない駅が多い。また、バスにおいても車いすの乗降に対応していない路線バスや高速バスがあり、車いす利用者にとっては移動に制限がかかってしまう。
- ・外見ではわからない障害をもっている人もおり、交通事業者は精神障害等に対し、予備知識をもっていただきたい。
- ・精神障害者に対しても公共交通における割引運賃適用の検討をお願いしたい。